

木材価格市況標準相場

令和8年1月9日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	3
吉 野 材	2
合 板	1
(2) 値下げ品目	3
合 板	3

○今月の市況動向

12月の商況については、全体として低調な荷動きとなった。品目によっては供給制約や先高観が見られるものの、需要の弱さから価格転嫁は限定的であり、当用買いを基本とした慎重な取引姿勢が継続している。

(国産材) 吉野材の役柱材105角については、需要は少ないものの、それ以上に供給が厳しいことから、値上がり品目となった。国産材構造材については、コスト高の輸入材からの切り替えが進んでいるものの、価格差を考慮すると「更に国産材の使用が増えても良いのではないか」との意見も聞かれた。秋田では、ここ一年強含みで推移していた原木が出材の増加を受け、足元ではやや下落に転じている。

(輸入材) 荷動きは低調であるが、在庫及び入荷量は何れも少ない状態が続いている。円安の影響が大きく、今後は現地価格の上昇も予想される中、厳しい状況が続いている。

(合板) 国内針葉樹合板では、12月にトラック不足の影響で納期遅延が見られたが、現時点では概ね解消されている。輸入合板については、11月の入荷量が15.8万㎡と大きく減少しており、今後は各港湾倉庫の在庫も調整されていくものと予想される。